

実績報告書

1 事業者名	NPO 法人 すぎなみ子どもサポート
2 事業名	プロに学ぶ「吹奏楽ワークショップ」
3 実施期間	令和3年8月22日(日)～令和3年11月7日(日) 関係者・スタッフ反省会 令和3年12月17日(金)
4 実施場所等	天沼中学校・高井戸中学校・高円寺学園・杉並公会堂
5 対象年齢・参加人数	区内在住・在籍の中学1年～3年生 12校 23人
6 参加費	有料 (3,000円)
7 内容	<p>作曲家や日本フィルの楽員をはじめとするプロ奏者10名（延べ49名）及び作編曲家福田洋介氏が中学生の吹奏楽をパート練習から合奏まで指導し、1回約2時間半・6回の練習で3曲を仕上げ、荻窪音楽祭の舞台での発表に漕ぎ着けました。</p> <p>コロナ感染が懸念される状況でしたが、徹底した*対策を取り無事に終了しました。</p> <p>*指導者の前にパーティション設置・フィジカルディスタンスの確保・検温・手指アルコール消毒・演奏時以外のマスク着用</p> <p>なお、報告書の配布先は以下の通りです。</p> <p>基金宛 80 学校 64 参加生徒 23 指導 13 日本フィル 20 荻窪音楽祭事務局 20 教育委員会 20 スタッフ 30 予備 30 合計 300部</p> <p>以下【別紙1】参照</p>
8 効果	<p>【別紙2】参照</p> <p>(1)応募状況</p> <p>(2)次世代育成基金の助成で得られた効果</p> <p>(3)中学生が得られた効果</p> <p>(4)学校の協力</p> <p>(5)ボランティアの協力</p>

【別紙1】 7-内容

(1) 参加者募集

7月5日(月)～16日(金)

(2) 事業実施

第1回

8月22日(日) 14:00—16:30 天沼中学校にて

生徒22名・指導者10名・スタッフ13名・教員2名

主な内容：全体会・パートごとに別れ自己紹介と基本練習をしました

第2回

8月29日(日) 14:00—16:30 天沼中学校にて

生徒21名・指導者8名・スタッフ8名・教員2名

主な内容：パート練習-基本練習と曲の練習、各自の課題にもしっかり取り組みました

第3回

9月23日(秋分の日) 14:00—16:30 高井戸中学校にて

生徒14名・指揮者1名・指導者8名・スタッフ12名・教員1名

主な内容：合奏練習-指揮者の福田洋介さんが自作曲の解説をしながら、生徒一人ずつにアドバイスをしました

第4回

10月17日(日) 14:00—16:30 天沼中学校にて

生徒21名・指導者7名・スタッフ9名・教員1名

主な内容：パート練習-前回の合奏でみえてきた課題に取り組みました

第5回

11月3日(文化の日) 14:00—16:30 高円寺学園にて

生徒22名・指揮者1名・指導者9名・スタッフ8名・教員1名

主な内容：合奏練習-本番へ向けて気持ちを作っていきました

第6回

11月6日(土) 15:30—17:00 杉並公会堂グランサロンにて

生徒23名・指揮者1名・指導者7名(プラス日フィル指導者無償参加4名 計11名)
スタッフ11名・教員1名

主な内容：合奏練習-曲の細かなところを合わせる最後の練習でした

荻窪音楽祭りハーサル

11月7日(日) 10:00—11:30 杉並公会堂大ホールにて

生徒23名・指揮者1名・指導者11名・スタッフ14人・教員2名

主な内容：リハーサル-気持ちを盛り上げ、最後の確認をしました

荻窪音楽祭

11月7日(日) 13:00—14:30 発表 杉並公会堂大ホールにて

生徒23名・指揮者1名・指導者11名・スタッフ14名・教員2名 聴衆は200名ほど

- ・本番終了後にそのまま舞台に残っていただき、このプロジェクトを通しての感想を生徒、指導者に述べていただきました。観客の皆さんも沢山残ってくださった中で、公開の「振り返りの会」となりました。

- ・この他、全くの初心者1名(本プロジェクトではパーカッションを担当)に対しては第1・2・4回の13:00—14:00に希望していた金管楽器の体験教室を行いました。
- ・第1～5回の練習終了後、毎回立ったままで指導者・スタッフで改善点等のミーティングを行いました。
 - ・第1～6回の練習及び音楽祭終了後、生徒からは毎回アンケート(自由記述)を取りました。
- ・パート練習では各部屋にスタッフが付き、指導者と生徒のサポートをしました。NPO会員以外にも地元から9人のボランティアがスタッフとして参加しました。

(3) 関係者ミーティング及び対外折衝

4月27日 10:30 天沼中学校校長に協力依頼

5月19日 17:00 第1回関係者ミーティング(役割分担等)

5月24日 16:00 松ノ木中学校副校長(音楽部会のリーダー)に協力要請

6月17日 10:00 作編曲家とのミーティング

6月18日	16:00	第2回関係者ミーティング 日程・指導者確認 会場検討 初心者対応 コロナ・熱中症対策	
6月23日		吹奏楽部の無い区立3校訪問・事前に説明	
6月23~30日		私立8中学校訪問・事前に説明	
6月28日		募集案内(チラシ・ポスター)送付	
6月28日		松ノ木中学校副校長から各校に協力要請メール送付	
7月1日		募集開始 ウェブサイトアップ・広報すぎなみ掲載	
7月8日	16:30	高井戸中学校に練習会場提供要請	
7月12日	11:00	高円寺中学校校長訪問 会場提供要請	
7月16日		申込締切り 参加者・指導者・ボランティアリスト作成	
7月21日	10:00	第3回関係者ミーティング 必要機材リスト作成 保険	
7月23日		参加者に案内送付	
7月26日	14:30	松ノ木中学校副校長訪問 応募者確定	
7月27日		井草・井荻両中学校訪問楽器貸出し依頼 参加者・トレーナー宛に楽譜送付	
8月2日	13:00	NPO内打合せ	
8月3日	14:00	第4回関係者ミーティング	
8月12日		指導者宛にリマインドメール送付	
8月16日	10:30	第5回関係者ミーティング 楽器確認 初心者対応策協議 参加者・日本フィル・トレーナー宛にリマインドメール送付	
	8月22日	第1回(パート練習)	天沼中
	8月29日	第2回(パート練習)	天沼中
9月1日	11:00	高円寺学園校長・副校長訪問 アリーナ貸出し依頼	
9月16日	9:30	高井戸中学校音楽教員訪問 打合せ	
	9月23日	第3回(合奏練習)	高井戸中
10月14日	17:00	荻窪音楽祭実行委員長と打合せ	
	10月17日	第4回(パート練習)	天沼中
10月18日	15:30	高円寺学園副校長・音楽教員訪問 打合せ	
10月19日	18:00	荻窪音楽祭企画リモート会議 原町一中・指揮者・音楽祭事務局と	
11月1日	10:00	天沼中学校訪問 3日及び6日の楽器運搬打合せ	
	11月3日	第5回(合奏練習)	高円寺学園
11月6日		楽器搬出(天沼中学校・松溪中学校・井草中学校より)	
	11月6日	第6回(合奏練習)	杉並公会堂
	11月7日	AM リハーサル	杉並公会堂
		PM 荻窪音楽祭で演奏	
11月7日		楽器返還	
12月17日		関係者・スタッフ反省会	

【別紙2】8-効果

(1)応募状況

区内全中学校へのチラシ・ポスターの配布に加え、広報すぎなみ・区のホームページ・NPOのホームページに案内を掲載しました。

更に区内私立中学校8校と吹奏楽部の無い区立中学校3校には事前に戸別訪問し、プロジェクトの説明を行いました。結果的に私立2校から3名・吹奏楽部の無い中学校2校から3名が参加しました。コロナの緊急事態宣言下ではありましたが、全体としては定員50名に対し、12校23名の参加となりました。

参加学校名：光塩女子学院中等科・西宮中学校・東京農業大学第一高等学校中等部（成田東在住）・高井戸中学校・井草中学校・和田中学校・天沼中学校・高南中学校・井荻中学校・泉南中学校・松溪中学校・神明中学校

学年別参加人数：1年生9人・2年生11人・3年生3人

(2)次世代育成基金の助成で得られた効果

- ・プロジェクトが広く知られた結果12校からの参加となりました。
- ・助成金のお陰で日本フィル楽員をはじめとする憧れのプロから直接指導を受けることが出来、みんな急成長しました。
- ・変則的な編成・生徒の水準に合わせて地元在住の作編曲家福田洋介先生に小まめに編曲をして頂くことが出来ました。福田先生は合奏練習に参加し、自作の曲を含め曲の解説・指揮をしました。

(3)中学生が得られた効果

- ・楽器の扱い方・日常の手入れ・ウォーミングアップの仕方と云う基本から曲の解釈に至るまで、部活動等では行われないう高いレベルの「行うべきこと」を学び、一人一人が今後より合理的な練習が出来ようになりました。部に所属している生徒は戻って部員に伝えることが出来、波及効果もあります。・・・基本の習得
- ・合奏練習ではプロが真横に並び、その音を聴きながらアドバイスを受けるという貴重な機会を得て、生徒達は自信をもって吹くようになりました。・・・プロから感じる
- ・練習が約16時間に及ぶ中で、他校の生徒と教え合う風景が見られるようになり、ごく自然に生徒同士の交流が行われました。・・・交流
- ・最後の杉並公会堂での演奏（発表）に向かうプロセスは貴重な充足感に繋がり、終了後の感想でも「合奏の楽しさ」を実感し、吹奏楽を続けよう・本気で取り組もうと云う生徒が増えました。・・・フル編成で合奏する喜び

(4)学校の協力

- ・本プロジェクトでは、練習場所の提供・楽器の貸出など学校の協力が不可欠です。過去に試行して来た天沼中学校には企画段階から参加して頂きました。
- ・第一回練習のレポートをお届けするなどした結果、高井戸中学校・高円寺学園に新たに協力を得て練習場所の提供をして頂きました。
- ・区立中学校音楽部会のリーダーである松ノ木中学校副校長には参加者募集・応募取り纏めに尽力して頂きました。
- ・参加生徒のいる各中学校の管理職及び音楽教員とも極力対話をしながら進めた結果、意義を共有し今後に繋げることが出来ました。

(5)ボランティアの協力

- ・ボランティアとして(NPO 会員を含め)延べ 75 人が参加しました。
- ・企画を知り賛同した非会員の地域の方々9人(延べ 37 人)はボランティアとして毎回、受付・写真撮影・楽器運び・指導者のコメント記録などを担って下さいました。
- ・6回を生徒と共に過ごし、音楽祭終了後には「参加して楽しかった」とのコメントを頂きました。
- ・生徒達も6回の練習及び発表に至る過程で、沢山の大人に支えられていることを実感することが出来ました。

収 支 決 算 書

I 収入の部

項目	内容	金額
1 助成金等	次世代育成基金活用事業助成金	977,000
2 その他収入	参加費69,000 @3,000円×23人 NPO法人負担	69,000 383
収入合計		1,046,383

II 支出の部

項目	内容	金額		
		参加者（子ども）	その他	項目合計
① 助成対象経費				1,004,708
(1) 旅費				
(2) 謝礼	①公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 @14,000/時間×2.5時間×3回×4人 ②トレーナー1 @8,000/日×延34人 ③トレーナー2(準日本フィル指導員) @10,000/日×延3人	420,000 272,000 30,000		420,000 272,000 30,000
(3) 印刷費	①参加募集チラシ 1,700部 ②参加募集ポスター 100部 ③報告書300部 70,000 (含デザイン・編集) 一式	8,873 6,006 70,000		8,873 6,006 70,000
(4) 物品購入費	①楽譜代(編曲込・「新世界」[arsenal], 技量に合わせ編曲) ②コロナ対策用品一式(含簡易パーティション) ③熱中症対策用品一式(トレーナー1・2用) ④クリップボード	80,000 12,264 770	1,082	80,000 12,264 1,082 770
(5) 役務費	①損害保険料 @41円×48人×3回 8/22.8/29.9/23 ②損害保険料 @41円×41人×3回 10/17.11/3.11/6 ③損害保険料振込手数料 @203×2 謝礼振込手数料 ④日本フィルハーモニー交響楽団分 @440 ⑤安藝美雪トレーナー分 @220 ⑥大型楽器運搬代振込手数料 @220 ⑦ポスターチラシ発送郵便料@390×4通	5,904 5,043 406 440 220 220 1,560		5,904 5,043 406 440 220 220 1,560
(6) 使用料及び賃借料	①楽器運搬費(11/6・11/7 チューバ等大型楽器搬送)	44,000		44,000
(7) その他	①参加者・スタッフ昼食 11月7日 参加者@540×23人 スタッフ@790×35人 飲み物@130×延45人 (スタッフ35人+演奏者用予備10本)	12,420	27,650 5,850	45,920
② 助成対象外経費(その他の経費)		0	41,675	41,675
	Tシャツ49枚+1枚サービス(ステージ用に作成) 熱中症対策用品一式		40,425 1,250	40,425 1,250
支出合計 (総事業経費①+②)				1,046,383